

# 令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

一般財団法人 東洋医学研究所

令和3年度については、当財団の事業目的ならびに当初の事業計画に基づき、下記のとおり、会議及び各事業を実施した。

記

## I 公益目的支出計画

### 1. 公益目的支出計画実施状況

① 期首公益目的財産残額	69,340,718 円
② 公益目的収支差額	1,623,184 円
公益目的支出額	1,623,184 円
実施事業収入額	0 円
③ 期末公益目的財産残額	67,717,534 円
(当初計画との差異)	▲349,101 円)
④ 公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日

### ※ 公益目的支出計画 (参考)

公益目的財産額 (当初)	81,586,635 円
公益目的収支差額見込額 (期間中平均)	1,690,000 円
公益目的支出計画の完了予定期末日	令和45年3月31日
公益目的支出計画実施期間	49年間

### 2. 公益目的財産額・純資産額推移

(単位: 円)

	公益目的支出計画	公益目的財産額①	純資産額②	②-①	(医療+法人損益)
H26/3 末	81,586,635	81,586,635	81,586,635		
H27/3 末	79,896,635	79,977,621	86,857,118	6,879,497	6,879,497
H28/3 末	78,206,635	78,262,165	86,331,219	8,069,054	1,189,557
H29/3 末	76,516,635	76,823,371	86,847,337	10,023,966	1,954,912
H30/3 末	74,826,635	74,776,055	86,142,392	11,366,337	1,342,371
H31/3 末	73,136,635	72,954,915	81,569,612	8,614,697	▲2,751,640
R 2/3 末	71,446,635	70,845,002	76,138,989	5,293,987	▲3,320,710
R 3/3 末	69,756,635	69,340,718	74,411,631	5,070,913	▲223,074
R 4/3 末	68,066,635	67,717,534	74,428,597	6,711,063	1,640,150

※ 公益目的財産額を純資産額が下回らないことが必要

## II 会議

### 1. 理事会

- (1) 第1回 令和3年6月10日(木)
- |      |       |                         |
|------|-------|-------------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和2年度事業報告書(案)の承認について    |
|      | 第2号議案 | 令和2年度決算報告書(案)の承認について    |
|      | 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について |
|      | 第4号議案 | 令和3年度定時評議員会開催について       |
- (2) 第2回 令和3年6月25日(金)
- |      |       |            |
|------|-------|------------|
| (議事) | 第1号議案 | 理事長の選任について |
|------|-------|------------|
- (3) 第3回 令和4年3月10日(木)
- |      |       |                  |
|------|-------|------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和4年度事業計画(案)について |
|      | 第2号議案 | 令和4年度予算(案)について   |
|      | 報告事項  | 令和3年度業績見通しについて   |

### 2. 評議員会

- (1) 定時(第1回) 令和3年6月25日(金)
- |      |       |                         |
|------|-------|-------------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和2年度事業報告書(案)の承認について    |
|      | 第2号議案 | 令和2年度決算報告書(案)の承認について    |
|      | 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について |
|      | 第4号議案 | 任期満了に伴う理事の選任について        |
|      | 第5号議案 | 監事の選任(増員)について           |
- (2) 第2回 令和4年3月10日(木)
- |      |       |                  |
|------|-------|------------------|
| (議事) | 第1号議案 | 令和4年度事業計画(案)について |
|      | 第2号議案 | 令和4年度予算(案)について   |
|      | 報告事項  | 令和3年度業績見通しについて   |

## III 役員等の就任・退任

### (1) 理事

令和3年6月25日任期満了に伴い、以下のとおり選任を行った。

- |      |         |           |
|------|---------|-----------|
| (就任) | 理事(理事長) | 櫻井 康司(重任) |
|      | 理事      | 田渕 健一(重任) |
|      | 理事      | 本間 生夫(重任) |
|      | 理事      | 田中 滋城(重任) |

任期：令和5年6月開催の定時評議員会の終結の時まで

### (2) 監事

①令和3年6月25日定時評議員会にて以下のとおり選任(増員)を行った。

- |      |    |          |
|------|----|----------|
| (就任) | 監事 | 堀 正樹(新任) |
|------|----|----------|

任期：令和7年6月開催の定時評議員会の終結の時まで

②令和3年11月20日、前久保直紀監事ご逝去に伴い、監事1名体制となった

## IV 公益事業（研究・啓発部門）

### 1. 研究部門

当研究所の目的である東洋医術の医学的研究活動を、基礎及び臨床におけるテーマに基づき、鍼灸並びに柔道整復分野の所内研究グループにて実施し、その成果について学会発表・学会誌投稿等を行った（計 25 題）。各グループの研究内容は以下の通り。

#### [鍼灸分野]

##### (1) 鍼灸臨床研究班（火曜班研究グループ）

（研究員：小島孝昭主任研究員、筒井宏史研究員、丸山広美研究員、中野陽子研究員、鈴木格研究員、伊丹章人研究員、橋本隆研究員、谷口授研究員）

研究テーマは以下のとおり

- ・「身体局所における皮膚応答性（閾値）の比較」－生体の刺激に対する応答性とその特性について－
- ・「身体局所における皮膚応答性（閾値）の比較」－女性の生理周期と刺激に対する応答性との相関性について－
- ・「耳介鍼刺激（皮内鍼）による高度肥満者に対する体重減少効果」
- ・「運動が筋緊張に及ぼす影響について」

##### (2) 東洋医学研究班（木曜班研究グループ）

（研究員：木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、水上祥典研究員、東垣貴宏研究員、武藤厚子研究員）

※ 「脈診の研究」及び「経絡系統治療システム」を継続して研究。

研究業績は論文発表、依頼講演を含め 6 題。

- ① 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会（福岡大会）【令和 3 年 6 月 5 日】  
「脈診訓練法の開発（第 21 報）－コロナ禍グローブ使用で脈診は可能か－」  
（一般演題発表：光澤弘主任研究員）
- ② 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会（福岡大会）【令和 3 年 6 月 5 日】  
「脈診訓練法の開発（第 22 報）－脈状における緊脈の古典文献からの検証」  
（一般演題発表：水上祥典研究員）
- ③ 第 49 回日本伝統鍼灸学会学術大会（沖縄大会）【令和 3 年 11 月 13、14 日】  
「伝統鍼灸的な鍼灸治療の基礎と実際・脈診習得法（MAM）」  
（学術部セミナー講師：光澤弘主任研究員）
- ④ 第 49 回日本伝統鍼灸学会学術大会（沖縄大会）【令和 3 年 11 月 13、14 日】  
「天・地・人治療」（第 11 報）－「虎口三関」に脈診部位を投影した乳児の喘息に著効した臨床例－  
（一般口演発表：水上祥典研究員）※「発表奨励賞受賞」
- ⑤ 第 49 回日本伝統鍼灸学会学術大会（沖縄大会）【令和 3 年 11 月 13、14 日】  
「経絡系統治療システム（VAMFIT）」による臨床（第 8 報）－新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応に対する VAMFIT－経絡治療の研究－  
（一般口演発表：東垣貴宏研究員）

- ⑥ 「東洋鍼灸医学 経絡治療」第 228 号 16～26 頁【令和 4 年 2 月 15 日】  
「脈診を初めてはじめる人のために（第 23 報）－脈状の検証②「緊脈」－」  
（論文発表：水上祥典研究員、木戸正雄主任研究員、光澤弘主任研究員、武藤厚子研究員、東垣貴宏研究員他）

(3) 基礎研究班（土曜班研究グループ）

（研究員：川瀬明子主任研究員 共同研究者（東京有明医療大学）：高倉伸有教授、矢島裕義准教授、高山美歩講師）

- ※ 「鍼灸および経皮通電刺激が体性運動神経（VFR）に及ぼす影響」、「Double-blind 鍼のマスキング効果」、「鍼の臨床研究」を継続して研究。

(4) 経穴認知班

（研究員：小川一主任研究員）

- ※ 「経穴取穴及び経穴刺鍼に必要な身体操作の確立」を継続して研究、また触覚デバイスを利用した鍼の刺入トレーニングシステムのプログラム再構築を実施継続中。

研究結果発表は以下の 1 題。

① 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会（福岡大会）【令和 3 年 6 月 5 日】

「胃・胆経上内部のエラストグラフィによる可視化（第 2 報）」－経絡経穴内部の軟らかさに関する考察－

（一般演題発表：小川一主任研究員、共同研究者（岩手県立大学）土井章男教授）

(5) 臨床治療班（附属鍼灸院研究グループ）

（研究員：吉川信主任研究員、寺師健研究員）

- ※ 鍼灸治療の前後の自律神経機能及び心理状態を測定し、「鍼灸刺激が心理状態に及ぼす影響について」を検討・考察した。発表や投稿等は以下の 17 題。

① 気圧感受性の有無による鍼灸刺激効果の検討. 第 71 回日本東洋医学会学術総会. 令和 3 年 8 月 15 日開催. **Kampo Medicin** 第 71 巻 別冊号 2021 年

（学会報告：吉川信主任研究員）

② 東京女子医科大学先端生命医科学研究所・第 52 期バイオメディカル・カリキュラム【令和 3 年 4 月 10 日】

東洋医学－鍼灸治療－（講演：吉川信主任研究員）

③ ◎◎はこう治す！ 私の鍼灸治療法とその症例 **File90-1** 月経痛に対する円皮鍼効果の予備的研究.あはきワールド.2021 年 12 月 1 日号 No740.HUMAN WORLD

（論文：吉川信主任研究員）

④ ◎◎はこう治す！ 私の鍼灸治療法とその症例 **File90-2** 月経痛に対する三陰交（SP6）の反応と円皮鍼効果の検討.あはきワールド. 2021 年 12 月 8 日号

**No741.HUMAN WORLD**

（論文：吉川信主任研究員）

⑤ 「不調を食生活で見直すための からだ大全」（NHK 出版）【令和 2 年 11 月】

「自分でできるツボ押し」（吉川信主任研究員）

⑥ 「素敵なあしたへ 4 月号」（協和発酵バイオ情報誌）【令和 3 年 4 月】

- 「しゃっくりを鎮めるツボ」(吉川信主任研究員)
- ⑦ 「素敵なあしたへ 5月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年5月】  
「目のかすみを和らげるするツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑧ 「素敵なあしたへ 6月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年6月】  
「天気痛を和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑨ 「素敵なあしたへ 7月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年7月】  
「脚のむくみを和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑩ 「素敵なあしたへ 8月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年8月】  
「肩関節痛を和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑪ 「素敵なあしたへ 9月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年9月】  
「こむらがえりを和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑫ 「素敵なあしたへ 10月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年10月】  
「ぎっくり腰を和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑬ 「素敵なあしたへ 11月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年11月】  
「聞こえにくさを緩和するツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑭ 「素敵なあしたへ 12月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和3年12月】  
「痔の痛みを和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑮ 「素敵なあしたへ 1月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和4年1月】  
「胸やけを和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑯ 「素敵なあしたへ 2月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和4年2月】  
「冷え性を和らげるツボ」(吉川信主任研究員)
  - ⑰ 「素敵なあしたへ 3月号」(協和発酵バイオ情報誌)【令和4年3月】  
「寝違えを和らげるツボ」(吉川信主任研究員)

[柔道整復分野]

(6) スポーツ・柔整研究グループ(スポーツ外傷研究班)

(研究員:山口竜彦主任研究員、下地秀和研究員、田中康文研究員、赤羽泰彦研究員、勝村洋介研究員、飯野元研究員、手島遼太研究員)

※ 「高校生スポーツ選手の身体特性と外傷との関連性の調査・研究」を継続して研究。

- ① 「東京有明医療大学雑誌2021」13巻 1~8頁【令和3年12月31日】  
「Changes in sagittal spinal alignment and comparison of deep trunk muscles contraction rate in low back pain of male high school soccer players」  
(高校男子サッカー選手の腰痛における矢状面脊椎アライメントの変化と体幹深層筋の収縮率の比較)  
(論文:手島遼太研究員、山口竜彦主任研究員他)

2. 啓発部門

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京都は緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が交互に発出され、例年実施していた以下の講座、セミナーをともに中止とした。

ともに2年連続での中止となった。

(1) 臨床技術研修講座

はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の各資格保有者を対象とした技術向上と研究者育成を目的とした講座。

※ 令和元年度は10回開催

(2) 健康セミナー

当財団の目的である東洋医学の普及啓発のため実施する健康をテーマとしたセミナー

※ 令和元年度は3回開催

## V 収益事業（臨床部門）

附属クリニックは、地域住民への医療サービス提供のため、昭和50年1月に開設し、その名のとおり、西洋医学と東洋医学の融合を図り、内科においては病気・疾患の治療はもちろんのこと、漢方薬を通じた病気の予防、病後の健康回復、慢性疾患の改善等の治療を行っている。また、整形外科では腰痛やひざ・足の痛み、捻挫・骨折といった外傷以外に、スポーツ整形にも力を入れている。更に平成26年4月からは自由診療の自然医療部門が加わり、様々な症状の患者様に対応してきたが、令和4年3月31日をもって、同部門の診療は終了した。

令和3年度のクリニックの運営状況は以下のとおり。

◆ 患者数

内科（漢方内科含む）と自然医療部門は令和元年度の水準に回復したが、整形外科は前年度比5.8%減少、リハビリ等は19.5%減少となり、合計では前年度比6.2%減と9期連続での減少となった。

◆ 収 支

収入は保険診療部門で前年度比13万円（1.5%）の増加、自然医療分門で前年度比5万円（0.5%）の減少となり、医療事業収入は前年度比8万円（0.4%）の収入増となった。一方、支出は保険医療部門で前年度比86万円（13.5%）の減少、自然医療部門で前年度比104万円（6.2%）の減少となり、医療事業支出は前年度比190万円（8.2%）の減少となり、収支額は前年度比197万円赤字縮小で229万円の赤字となった。